

豊中・サンマテオ姉妹都市

# 提携ニュース 2017



<http://www.city.toyonaka.osaka.jp/>



<http://www.cityofsanmateo.org/>

豊中・サンマテオ姉妹都市協会  
Sister City Association of Toyonaka-San Mateo

第47号





# サンマテオ市親善使節が豊中を訪問

2016年7月8日から14日までの一週間、豊中市の姉妹都市であるカリフォルニア州サンマテオ市より、スチューデントアンバサダー(学生親善使節)としてサンマテオ市内にあるアラゴン高校生のイグサビエル・マクナリーさんと、同校卒業生のサマンサ・ドナスさんの二人が来豊されました。今年で4度目となる学生親善使節の豊中訪問。滞在中二人はホストファミリーのもとで生活しながら、さまざまな交流活動に参加されました。

## 7月8日(金) ホストファミリー対面式

関西国際空港に到着。出迎えた事務局の職員と豊中市へ。市内の石塚会館にてこれから一週間お世話になるホストファミリーとの対面式に参加されました。



関西国際空港で出迎えられた二人



豊中市長を表敬訪問



豊中市の第一印象を伝える二人



ホストファミリーとの対面式

## 7月9日(土)・10日(日) ホストファミリーとの休日

ホストファミリーやその友人たちと大阪市内や京都市内へ出かけるなど自由な時間を過ごした二人はこの二日間でさらにホストファミリーとの親睦を深めたようです。

## 7月11日(月) 表敬訪問・歓迎会

豊中市を訪問し、浅利敬一郎豊中市長ら市関係者と面会。その後、豊中市議会北川議長、弘瀬副議長と面会し、議場では議長席に座って記念撮影をしました。この日は待兼山町の大阪大学総合学術博物館を



議場にて正副議長と



大阪大学総合学術博物館にて



東光院萩の寺でご住職の話に聞き入る二人



御本尊前で合掌



5年ほど前から勉強しているというサマンサさんの日本語でのスピーチに場内からは歓声が上がりました。また、映像制作や舞台に興味があるイグサビエルくんは、自主製作したショートフィルムと唄を披露してくれました。さらに、2016年の8月4日から11日までサンマテオに派遣される豊中市親善使節の荒木愛琳さんにも出演いただいて、特技の英語落語を披露してもらい、派遣への抱負を語ってもらいました。



ホストファミリーの石井さん、辻田さんと使節の二人



日本語でスピーチするサマンサさん



英語落語を披露する荒木さん



唄を披露するイグサビエルくん



歓迎会の席でホストファミリーと

## 7月12日(火) 梅花高等学校訪問

午前中は通常の授業に参加した二人。ランチの後には競技カルタ部に体験入部させていただき、全国大会レベルの実力を持つ気迫たっぷりの部員さんたちの実技に目を丸くしていました。



梅花高等学校競技カルタ部に体験入部



競技カルタに挑戦中の二人

## 7月13日(日) 箕面高等学校訪問

有志の学生たちとPTAのご協力つまみ細工の花かざり作りに挑戦しました。色とりどりのちりめんの布地を選び指先でつまんで形づくり糊付けしていく行程を経て、花かざりが完成しました。二人とも思った通りに出来上がったようで、今回の日本訪問の良いお土産になったと喜んでいました。20名ほどの学生が有志で参加してくれたジェスチャーゲームでは、英語と笑い声が飛び交う楽しい時間になりました。

登下校のラッシュアワーも体験した二人。「日本人は勤勉という話は本当ですね。そしてみんな早起き！！サンマテオでは学校は9時半スタートだから驚きました」と、サマンサさん。日本の文化に興味があり、以前から留学したいという気持ちを持っていたという彼女、日本での生活の良い体験になったようです。夜には豊中市・サンマテオ市姉妹都市高校生親善派遣交流同窓会主催の交流会に参加し親交を深めました。



和風柄の布地で作る、つまみ細工に挑戦する二人



英語のカルタに初挑戦



英語ジェスチャーゲームで交流



ホストファミリーに関西国際空港で見送られる二人

## 7月14日(木) 関西国際空港

滞在中に予定されていたすべてのスケジュールを無事に終えた二人は7月14日にホストファミリーに見送られて関西国際空港から帰路につきました。翌月には豊中市の親善使節がサンマテオを訪問する際にホストファミリーを担ってくれる二人。ここから両市の友好がさらに深まり、親善の輪が広がっていくことに期待しています。



## 親善使節サンマテオ市 訪問記

第44回高校生英語弁論大会の成績優秀者アーベディッシュ ニカメフルさんと荒木愛琳さんが、2016年8月4日から8月11日まで、サンマテオ市を訪問しました。

## 豊中市長賞 荒木 愛琳さん



関西国際空港でわくわくしながら飛行機に乗り込み、サンフランシスコ国際空港では今回のホストファミリーであるマクナリー家とドナス家の皆さん、陽子アンダーソンさんに温かく出迎えていただきました。

ホストマザーとは出発前からメールでやり取りをしていた事もあり、すぐに打ち解けることができました。私の特技である英語落語をサンマテオ訪問中にどこかで披露したいという願いをホストマザーが叶えてくださり、到着日当日に地元の小学校で英語落語を披露出来ることになったのです。そのため飛行機の中からずっと緊張しっぱなし…。そんな私をまわりのみなさんが「頑張って!成功するよ、出来るから!」と応援してくださいました。

訪ねた学校はサマースクール中で、ミュージカル「Winnie the Pooh」の練習に取り組んでいる小学2～5年の学生達がありました。私の英語落語が始まると初めは、座って喋る、扇子や手拭いといった小道具を使う、

和服を着ている、という落語独特のスタイルに驚いていたようですが、噺が進むにつれて気持ちよく笑ってくれて、オチでも大爆笑。本当に嬉しかったです。講演後には「日本語でハローって何て言うの?」「じゃあ1から10は?」という簡単な質問から「扇子の使い方を教えて」「落語の他にどんな伝統芸があるの?」まで色々な疑問を投げ掛けてくれました。少しの間でも日本の古典文化に触れたことでまた色んなことに興味を持ってくれたらいいなと思いました。質問コーナーが終わった後、観てくれた子達が駆け寄って一人一人感想を伝えてくれました。みんな、自分の思ったこと、感じたことを素直に、きちんと自分の口で相手の目を見て言う、ということ普段からしっかり行っているのを感じました。

翌日にはホストファミリーが、落語を観てくれた子達が出演するミュージカル「Winnie the pooh」に連れて行ってくれました。とてもかわいいお話でしかもみんな上手!昨日お話ししたときはあんなに無邪気だった子達も、ステージに立って歌ったり踊ったりしている時はよりキラキラしていて、感動のあまり涙が出てしまいました。

滞在中サンマテオ市内や近隣都市など色々なところに連れて行っていただきましたが、どの行程のなかでも印象に残ったのは、やはりサンマテオの皆さんの温かさです。豊中市から来た、ということをお話すると必ず「トヨナカから来たのね!歓迎するわ!」「ようこそサンマテオへ、楽しんで行ってね!」等と声をかけてくださるので、とても嬉しく、誇りに思いました。更にサンマテオの街の柱や壁など至るところに豊中市とサンマテオ市が姉妹都市であることを示すアート作品があり、両市の友好関係が長い間良好であることを示していると実感しました。

最終日、私たちはサンマテオ市役所を訪問しました。ジョーゴースルズ市長をはじめ、市職員の皆様と歓談した後、市庁舎でも英語落語を披露させてもらえることになりました。初日に子ども達に笑ってもらえたことで、英語でストーリーが通じることがわかっていたため、ここではリラックスしてできました。

午後の陽が差し込んだ、美しい市役所のホールでの英語落語、あのシーンは一生忘れません。講演後、皆さんが落語について話しかけてくれたり、ゴースルズ市長が「また是非サンマテオに落語をしにきてください!待っています」と声をかけてくれたりしてまた夢が膨らみました。

「日本の落語を世界へ届けたい!」という私の夢は、ホストファミリーの協力がなければ実現することができませんでした。外出時も家の中でも、家族のように接し支えてくれ、本当に温かく心強かったです。

日本に帰る朝、私が荷物をまとめて玄関に降りたら、テーブルの上にハンドメイドのペーパークラフトが!!!「MERIN:(」という大きな切り文字が置かれていて、「あなたとお別れするのが寂しいから、しばらくテーブルの上に置いておくわ!」とホストマザーが言ってくれたので大泣きしてしまいました。人の温かさ、繋がり大切さを学んだとても素晴らしい思い出になりました。この経験は、沢山の方にご協力頂いたからこそできたものです。豊中市の皆さま、サンマテオ協会の皆さま、ホストファミリー、サンマテオ職員の皆さま、豊中市役所の皆さま…この場をお借りしてお礼を申し上げます。本当にありがとうございました。



## サンマテオ市長賞 アーベディショナル ニカメフルさん



アメリカに行くのが初めてだった私にとってこの一週間の滞在は本当に充実したものになりました。「サンフランシスコへ、ようこそ!」という看板を見て、英語で空港スタッフと話して初めて、アメリカに来たと実感しました。

ホストファミリーはとてもフレンドリーで、初日からとても親しくなり、家族のことや、日本の学校のことなどいろんなことを話しました。セントラルパークで開かれていた音楽祭へ行く道すがら、ところどころに姉妹都市の豊中市のことが書いてあったり、和食店がたくさんあったりいくつも両市の関わりを見つけられました。街を歩くといろんな言語が聞こえました。スペイン語、イタリア語、日本語や中国語、そして私の母国語でもあるペルシャ語も聞こえてきたことは、言語が好きな私にとってとても魅力的で印象に残りました。

印象に残ったといえば、ホストファミリーに連れて行ってもらったゴールデンゲートブリッジです。大渋滞の中、橋のすべてが上から見渡せるところに連れて行ってもらって見た風景は、いつまでも忘れられないと思います。もう一つ食事については、一人分のサイズが驚くほど大きく、いつも食べきれなくて申し訳ない気持ちになったほどでした。私はアメリカに行くことが決まった時、「英語は絶対大丈夫だ!なんでも通じる!」と思っていましたが、何回か困ることがありました。買い物をする時、日本でもレジの人が決まったフレーズを言うようにアメリカでも同じようなことを言うらしいのですがそれが非常に早い口調で聞き取れず、お店やレストランで毎回焦ってしまいました。



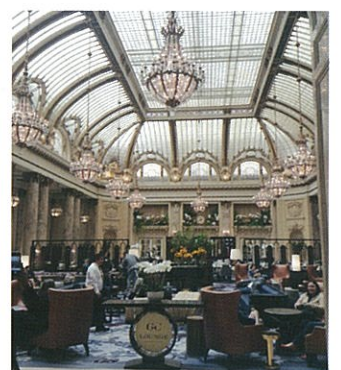
レジでお金を払う時にはこんなことがありました。カッコよくドル札で払うのは簡単でしたが、小銭に慣れていなくて、だんだんと財布の中にコインばかりが貯まってしまいました。その時思いついたのが、手のひらに自分の持っている小銭を全部出して、レジの人に「すみません、

ここからとってくれませんか?」と頼んでみることに。そうしたら優しく、「じゃあ、これとこれとこれをお願いしますね」と言ってくれました。そうしているうちに自分でも少しずつコインに慣れて、最終日には自分で払えるようになりました。

ホストファミリーとの時間は楽しいものでした。忙しいのに毎日美味しいご飯を作ってくれたり、私が少し体調を崩した時も優しくアドバイスをしてくれたり、私のためにスープを作ってくれたり、夜には熱が出ていないか部屋に見に来てくれたりして、「ああ、この家族大好きだ」と思いました。今でもずっと同じように感じています。

最終日には、サンマテオ市役所に行って、市役所の方々や、サンマテオ姉妹都市協会の方々に会うことができました。その時に、去年の英語弁論大会でのスピーチを披露させていただいたのですが、目の前に英語のネイティブスピーカーしかいなかったことで、去年の大会と同じぐらい緊張しました。しかし、私の言語についての思いが伝わるように自分のベストを尽くしてやってみたら、その後いろんな方にスピーチの内容や発音を褒められて、とても嬉しかったです。

最後に、一週間の滞在でその国の文化や特徴が全部わかるとは言えないし、住んで初めてわかるところもたくさんあると思いますが、あえてこの一週間のアメリカ滞在を一文で表そうと思えば、『アメリカは、フレンドリーな人、豊富な文化、そしてバーガーの美味しい国!』と言えらと思います。サンマテオに行き、いろんな方と関わり出会い、毎日100パーセント英語でコミュニケーションをとる機会を持てたことは、私の3年間の高校生活で1番大事な出来事だと思います。この機会与えてくれた皆様に心から感謝しております。本当にありがとうございました!





# 豊中市サンマテオ訪問記

2016年8月27日(土)

## サンマテオ市 日本庭園開園

# 50<sup>anniversary</sup>周年 記念式典

J a p a n e s e

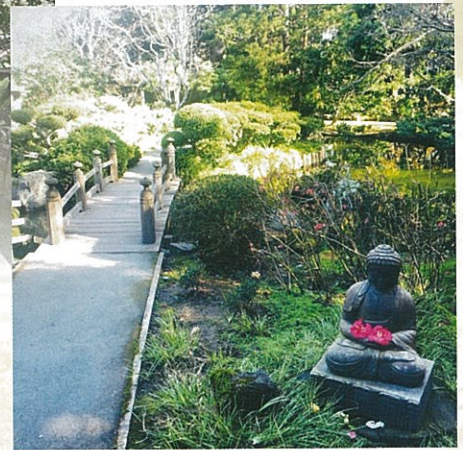
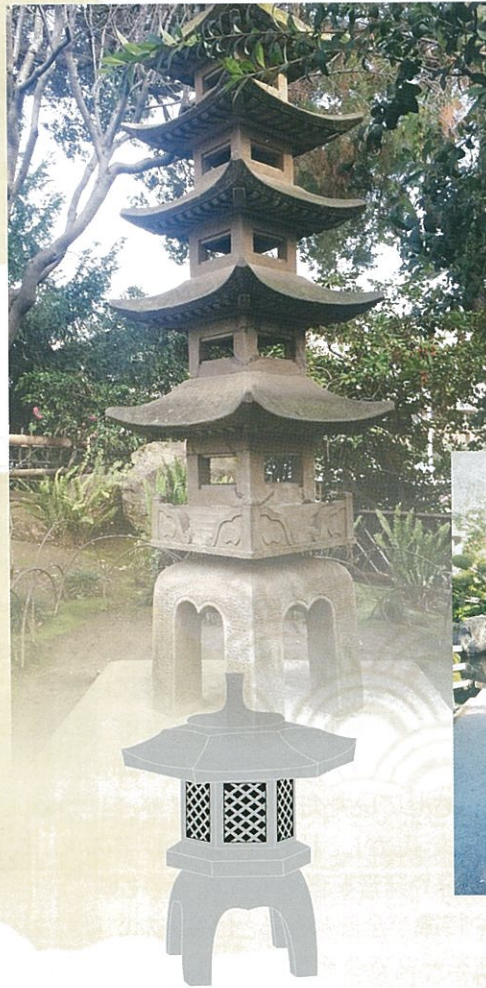
この日本庭園は、日米友好の架け橋として、サンマテオ市在住の日系人が中心になって、1966年に建設されました。同市の中心部にありながらも、豊かな緑に囲まれた静かな佇まいは、訪れる人の心を癒し、多くの方々に愛されてきました。

園内には五重の石灯籠など、本市関係者からの数々の寄贈品が今も大切に飾られ、豊中市とサンマテオ市の交流の歴史の一端を垣間見ることができます。

2016年8月27日、庭園の建設50周年を祝う記念式典が開催され、本市からは担当職員と職員有志が出席しました。

式典では、浅利敬一郎市長からのメッセージが披露されたほか、豊中・サンマテオ姉妹都市協会監事の川合隆子さんが、親善使節の第1期生としてサンマテオ市を訪問された思い出や当時の様子を語られました。庭園の建設に尽力された方々や、高校生親善使節として両市を訪問した学生たちも多数招かれ、世代を超えた両市の結びつきを実感する機会ともなりました。式典後には祝賀パーティーが開かれ、同市のジョー・ゴースルズ市長と日本庭園を描いた絵画を交換するなど、式典を新たな出発点として、両市の交流のいっそうの推進のために協力していくことを確認しました。

1966年友好の印として豊中市から送った仏塔



訪れる人を和ませる石仏

美



錦鯉が泳ぐ日本庭園内の池



池越しに茶室を望む



# 和 g a r d e n

## サンマテオ市 日本庭園開園 50 anniversary 周年 記念式典

日本庭園50周年を祝い、豊中・サンマテオ姉妹都市協会から絵画を贈りました。作者は日本画家で豊中市美術協会副会長の藤森秀子さん。「水辺の景」と題した作品は、水墨画ならではの落ち着いた筆致が庭園の池の美しい佇まいを際立たせています。サンマテオ市からは、同じく日本庭園をモチーフにした絵画をいただきました。園内に流れる穏やかな時間が伝わってくるようなやさしい色使いの作品で、現在本市役所第一庁舎1階に飾られています。

コーサルズ市長（左から2人目）と姉妹都市協会メンバーで豪快に鏡割り



サンマテオ市からいただいた絵画



日本画家 藤森秀子さんの水墨画「水辺の景」  
F20号（729mm×608mm）の大作です



ヨイショ!



手にしているロゴ入りの升は  
記念式典の記念品として配られました

2016 08 28



和太鼓演奏（日本庭園内にて）

6



ジョーコーサルズ市長と  
豊中市から参加したメンバー

2016 08 28





# 豊中市職員 サンマテオクラブ サンマテオ訪問記 (2016)

豊中市職員サンマテオクラブでは、2016年8月24日～8月31日、浅利敬一郎豊中市長の代理で渡米された魅力創造課長の長坂吉忠さんに同行してサンマテオ市日本庭園開園50周年記念式典に参加しました。クラブからは会長の永原武敏はじめ幹事の白木一則、大原洋子、前田真吾、須藤有美と教育委員会から高橋孝子元第九中学校長、溪口恵梨子、サンマテオ派遣親善使節高校生同窓会から柿本早紀さんが同行しました。さらに、サンマテオ協会監事の川合隆子・省三ご夫妻が参加され大変心強い訪問団となりました。サンマテオ市では、市長表敬のほか、消防署、警察署、図書館、学校訪問などお互いの友好提携校との姉妹都市親善交流の絆を深めました。また、サンマテオ市教育委員会を訪問し、ローサス教育長やシムス前教育長とも交流し、文化・教育分野での姉妹都市交流の絆を確認することができました。一方、日本庭園管理責任者のシェーラさんからは昨年までの寄付贈呈に対し感謝の意を表していただいたことに加え、開園50周年式典にもご招待を受け、またペレスフォードパーク内レクリエーションセンターのレンガ通りに記念のプレートレンガを設置していただきとても光栄でした。

豊中市職員サンマテオクラブ会長 永原 武敏



顕彰レンガ



地元ケーブルテレビの取材を受ける柿本さん



ペレスフォードパークにてシェーラさん



サンマテオ市役所中庭にて(アイスクリームパーティ)



ローサス教育長とサンマテオ市教育委員会のみなさん



フィリス・ハリソン、ノースショアビュー小学校長と



パティ・ドレア、リード小学校長に  
ふくろう時計をプレゼント



須藤さん・大原さんによる読みかせ



ベイサイド中学校



ボレル中学校ブラスバンドとの交流会



グリーン家とコンロン家とアイリッシュディナー



デビット副市長の自宅にて



コンスタント一家  
(2011柿本さんのホストファミリー)



ゴールデンゲートにて



2016年10月13日から16日の4日間

# サンマテオ市からリック・ボニーラ議員夫妻が来豊されました

豊中に滞在されたお二人より、後日いただいたお手紙を紹介します。

～親愛なる 豊中市長はじめ豊中市民の皆様へ～

はじめに、この度の奇跡のような豊中市訪問について心よりお礼申し上げます。私たち二人にとって、今回の豊中市滞在は今後の人生においても忘れられない思い出となることでしょう。

一日目の豊中市庁舎、弓道場や武道館ひびき訪問は、実際に弓道体験をさせていただくなど、充実した内容となりました。また、原田神社や服部天神社では非常に興味深い日本の伝統や慣習について知ることができました。

また浅利 敬一郎市長や國貞豊中・サンマテオ姉妹都市協会会長をはじめ、いつもお世話になっております豊中市の関係者の皆様に歓迎会の席でお会いできたことに心より感謝申し上げます。



豊中市役所都市活力部魅力創造課にて

## 2016年10月13日～16日滞在日程

13日	<ul style="list-style-type: none"> <li>来庁 事務局と対面</li> <li>民家集落博物館訪問</li> <li>武道館ひびきで弓道体験</li> <li>当協会主催歓迎会</li> </ul>
14日	<ul style="list-style-type: none"> <li>大池小学校訪問 ～4年生から歌、エイサー、合奏で歓迎を受けました～</li> <li>大阪大学総合学術博物館訪問</li> <li>職員サンマテオクラブ主催交流会</li> </ul>
15日	<ul style="list-style-type: none"> <li>豊南市場、服部天神など散策</li> <li>豊中市市制施工 80周年記念式典</li> </ul>
16日	<ul style="list-style-type: none"> <li>京都散策など</li> </ul>



大池小学校での歓迎の様子



サンマテオ市からの声明文を手



民家集落博物館にて



歓迎会で記念品を交換

そして翌日、豊中市立大池小学校を訪れた時の経験は、私たちの予想をはるかに超えるものであったと表現せざるを得ません。私たちのためにご準備くださった演奏演舞は愛くるしく本当に感動させられました。

マチカネワニの化石が展示されている博物館では学芸員さんにマンツーマンでずいぶん詳しく解説していただきました。

永原さんが館長を務める伝統芸能館では日本の踊りやお箏をご披露いただいただけでなく、私たちにもその場で日本の伝統衣装の着物を着つけてくださるというもてなしを受け本当に驚きました。

土曜の朝市（豊南市場）では近隣の豊中市民の毎日の暮らしとともに商店や食文化の在り方を見る良い機会となりました。そして、10月15日、真新しい豊中市文化芸術センターで行われた、豊中市市制施行80周年記念式典に偶然にも出席できたことは、まるで何かに導かれたかのような御縁を感じる大興奮の出来事となりました。式典の場で、サンマテオ市長の声明文をサンマテオ市の代表として披露できたことを光栄に思います。

今回お世話になりました豊中市の皆様方には、大いにおもてなしいたごまして感謝してもしきれぬものではありませんが、この場を借りてお礼申し上げます。



武道館ひびきで弓道体験



日本舞踊を再現してポーズ



豊中市職員サンマテオクラブ主催交流会にて



第45回

# 高校生英語弁論大会

The Annual English Speech Contest

2017年1月28日(土)、豊中・サンマテオ姉妹都市協会主催の「第45回高校生英語弁論大会」をとよなか男女共同参画推進センターすてっぷホールで開催し、10校17人の出場者が参加しました。



## 第45回 高校生英語弁論大会の受賞者

賞	受賞者	高校名/学年	演題
豊中市長賞	石井 優帆	茨木高等学校	Living for others 人のために生きる
豊中・サンマテオ 姉妹都市協会会長賞	本郷 鯨	茨木高等学校	Understanding Other Countries 異国理解
国際ソロプチミスト特別賞	花房 侑加	豊中高等学校	I'm motivated with English だから、私は本気なんです。
優秀賞	宮地 能史	大商学園高等学校	English Language Education in Japan 日本の英語教育
優秀賞	佐谷 秀暁	豊中高等学校	3 Tips from My Favorite Book 本から学んだ3つのコツ

審査は、大阪女学院大学教授のブライアン・ティーマンさん、大阪女学院短期大学部准教授のウィリアム・クラインさん、当協会監事の川合隆子さんの3名により行われました。





石井 優帆さん



本郷 鯨さん



花房 侑加さん



宮地 能史さん



佐谷 秀暁さん

豊中市長賞は、「東日本大震災を経験したことで自分の生きる道を見つけることができた」と発表された茨木高等学校の石井優帆さんが受賞され、豊中・サンマテオ姉妹都市協会会長賞は、「本当の国際人になるには、まず自国のことを知ることが大事」と剣道を通じて知ることができた「和の心」の素晴らしさについて発表された、茨木高等学校の本郷鯨さんが受賞されました。また、国際ソロプチミスト特別賞は豊中高等学校の花房侑加さん、優秀賞には大商学園高等学校の宮地能史さんと豊中高等学校の佐谷秀暁さんが受賞されました。難しい審査を引き受けてくださった3人の審査員の方々からは次のような講評をいただきました。

**クライン先生：**10代のみんなが、何を感じ、これまでにどんな経験をして、どんな想いを抱いているのか、どんなことに挑戦しているのか。素直な気持ちをこの場で披露してくれたことに本当に感謝しています。そして、今日ここで話してくれたことをぜひこれからも実践して欲しいと思います。



**ティーマン先生：**英語弁論大会に出ようと決めた日から今日まで、毎朝目が覚めたときに、「よし、スピーチ頑張るぞ！！」って自分を奮い立たせて、原稿を何度も見直し、たくさん練習したと思う。そして今日のその成果を存分に見せてもらいました。素晴らしかった！もしもみなさんが僕の授業の生徒たちなら、「ドリームクラス」になるだろうね。

**川合さん：**今年から審査に取り入れた志望理由書に皆さんが書かれた思いをいつまでも持っていただきたいと思います。そしてまた皆さんの素晴らしい英語のスキルを発揮してもらえるような通訳のボランティアなどの機会にもぜひ参加していただいて、今後も活躍してほしいと願っています。

なお、豊中市長賞受賞の石井優帆さんと豊中・サンマテオ姉妹都市協会会長賞の本郷鯨さんは豊中・サンマテオ姉妹都市親善使節として、2017年の8月に一週間程度サンマテオ市を訪問し、ホームステイを体験しながら、様々な交流活動に参加する予定です。



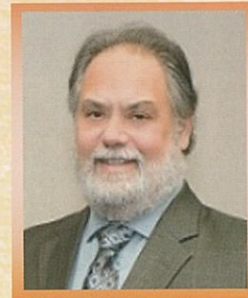


## 新市長はデヴィット リムさん

2016年12月にサンマテオ市議会の改選があり、新市長は David Lim さんに決定しました。



市長: David Lim



副市長: Rick Bonilla



議員: Maureen Freschet



議員: Joe Goethals



議員: Diane Papan



(写真上) サンマテオ市からいただいたワニの置物とパペットとマチカネくん  
(表紙写真) サンマテオ市日本庭園

## 2017年度事業計画

- 2017 年度役員会・総会 (6 月)
- 豊中・サンマテオ姉妹都市親善使節 2 人のサンマテオ市派遣 (8 月予定)
- 豊中市少年野球団 親善交流試合のためサンマテオ市訪問 (8 月予定)
- 第 46 回高校生英語弁論大会の開催 (2018 年 1 月 27 日)
- 広報活動の推進
  - 姉妹都市提携ニュース (第 47 号) の発行
  - その他協会の目標達成のために必要な活動